

代表質問・質問について

12月3日、4日、7日、8日の4日間で33人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は令和2年11月定例会時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、新型コロナと略して表記しています。

代表質問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。



民主・立憲フォーラム
西岡友和

コロナ禍における自治会組織等に対する支援について

問 新型コロナウイルスの感染拡大により本市の地域諸団体では、そのほとんどの活動を中止せざるをえない状況である。これまでは開催を模索するも実施を諦めざるをえなかったが、今後は先の見通せない感染拡大を踏まえ、これまでどおりの開催はかなわないことも前提に、諸団体に対して代替となる取り組みや別角度からの支援などを充実させるべきと考える。こうした観点から、これまでのコミュニティを維持するための施策などについて、市の見解を求めます。
答 自治会活動においては今後も地域の声を聞き、適切な感染防止対策を行ったうえで歴史ある地域行事の継続を模索するとともに、SNS等を活用した新形態の活動も支援したい。また、子どもたちに関わる諸団体には、市の新型コロナ対策や創意工夫された取り組み事例等を情報提供するなど連携を進め、行事等に集つ子どもたちとボランティアとのつながりが薄れないよう努める。



市民と歩む議員の会
池淵佐知子

PCR検査体制は十分か

問 新型コロナウイルス感染拡大の第3波が大きく長く続けば、PCR検査件数が不足するのではないか。協力診療機関を増やすとともに、検体回収センターの事業継続が必要ではないか。
答 地域の医療機関全体でPCR検査体制を確保していく。検体回収センターは臨時的事業であるが、地域外来・検査センターの稼働状況を見ながら、継続の必要性について、開設者である医師会と検討していく。

学校給食費の公会計化を

問 学校給食運営の透明性確保や教職員等の負担軽減のメリットから、学校給食費の公会計化に取り組み必要があると教育長は過去の議会で答弁してきた。なぜ、実現しないのか。
答 学校事務改善検討委員会において、教職員の負担軽減や保護者の利便性向上を図るため、学校徴収金の取り扱いも併せて検討することにした。一括徴収システムの導入などの意見もあり、実施時期等を含め、具体的な内容を示せるよう検討していく。



大阪維新の会・吹田
高村将敏

保育所の手続きの見直しを

問 公立保育所において、保護者や職員の負担軽減を図るため、手続きの簡素化や電子化を進め、また、業務全体を抜本的に再構築すべきと考えるが、副市長の考えを聞きたい。
答副市長 令和4年からのスマートフォンによる保育所利用申し込みの実施など、業務改善の検討を指示している。市民の利便性の向上と職員のワーク・ライフ・バランスの両立の実現を目指し取り組みを進めたい。

問 各小学校で徴収し、学校給食会が管理している給食費を、業務改革の一環として、市が一元管理してはどうか。学校現場の負担軽減につながり、迅速な対応や対策が可能な管理体制となるため、合理的な運営方法と考えるが、所見を問う。
答 学校事務改善検討委員会において、学校徴収金の取り扱いと併せて給食費の公会計化を検討している。学校現場の負担軽減と保護者の利便性の向上に取り組んでいく。



公明党
矢野伸一郎

包括的な支援体制を整備せよ

問 新型コロナウイルスの影響による住居費への不安など、多様な生活課題を抱える人に対して、包括的な支援体制が必要である。令和3年4月に改正社会福祉法が施行され、新たに重層的支援体制整備事業が創設されるが、本市も早急に取り組みべきでないか。

答市長 コロナ禍で苦しむ市民に対して、市独自の対策に加え、必要に応じて包括的な支援に取り組んできた。引き続き、困難な状況にある市民へ実効性の高い取り組みを進めていく。

市の医療提供体制を万全に

問 全国各地で新型コロナウイルスは感染拡大の状況にあるが、本市の医療提供体制の現況を聞きたい。また、医療崩壊を防ぎ、市民の命を守るため、市はどのように取り組んでいるのか。

答 市内の病院や市三師会等と新型コロナウイルスに係る情報共有や救急診療体制等の意見交換などを実施し、医療提供体制の確保に努めている。今後感染状況等を見ながら、市民が安心できる同体制の整備に取り組む。



日本共産党
益田 洋平

社会的検査でクラスター予防を

問 本市でも高齢者施設等で、新型コロナウイルスのクラスターが発生している。高齢者施設等での感染を防ぐことは、医療提供体制の確保にもつながると考えるが、有症状者への検査だけでなく、社会的検査として定期的なPCR検査を実施すべきでないか。

答 介護福祉施設等での定期的な社会的検査の実施は、必ずしもクラスターの発生を防ぐものではなく、検体採取等の業務量や検査費用が増大するため、実施する予定はない。

少人数学級実現に向けた対応を

問 本市が実施している少人数・習熟度別指導より、少人数の学級編制が、学力向上に効果があるとの研究結果がある。少人数学級実現に向け、まずは、支援学級在籍者をダブルカウントすることを求めるがどうか。

答 支援学級在籍児童、生徒を通常学級の児童、生徒数に含めることは、きめ細かな指導等を行うための少人数学級編制につながると考えており、引き続き、国や府に要望していく。



吹田新選会
石川 勝

江坂公園の官民連携による魅力向上について

問 江坂公園の今後の活用について、企業や団体等の多くの力を集め、新たな価値を創造していくべきと考えるが、実現のための担い手の確保策について所見を問う。

答 周辺自治会や企業、公園で活動するボランティア団体等と意見交換を行い、協働体制について検討を進めている。公園の指定管理者には、地域の魅力を創出する新規事業者の開拓や各関係団体のコーディネートを期待している。

江坂公園地下駐車場跡の利活用

問 江坂公園の地下駐車場跡の利活用について、取り組み状況と今後の見込みを聞きたい。

答 江坂公園の魅力向上に向け、駐車場跡単体ではなく、公園との一体的な利活用を前提に、民間事業者の提案を受けながら検討してきた。地下1階は自走式駐車場として活用可能だが、地下2階は活用に課題があるとの意見を頂いている。



自由民主党絆の会
里野 善徳

健都での医療体制と地域経済

問 健都を中心に、今後どのような医療体制を作るのか。また、健都のまちをどのように地域経済の活性化につなげていくのか、見解を問う。

答 地域医療と連携し、データを活用した健康づくりの取り組みを進めることは重要と考える。今後は、ICTの活用を図るとともに、関係者と連携しながら、さらなる検討を進めていく。また、地域企業も含めた産学連携の推進を図るなど、健都の資源を全市に還元していきたい。

公共施設の最適化について

問 公共施設の最適化の観点から、複合施設へ機能等を移転し、集約することで生まれる跡地の活用については、計画が白紙である。土地活用について、市の見解を問う。

答 機能移転等に伴う公共施設の余剰床については、公共施設の最適化の取り組みの中で、他の機能へ転用する等の活用を図る。また、土地については、行政財産として活用の検討や貸し付けや売却による活用を図る。

定例会の概要 代表質問 質問 常任委員会 意見書等 議決結果 1月臨時議会

質問(個人質問)

今定例会では26人の議員が質問(個人質問)を行いました。



大阪維新の会・吹田
松尾 翔太

骨髄移植ドナー助成制度の導入

問 ドナーが骨髄を提供する場合、入院等により長期休暇の取得が必要のため、実際に移植につながるの約6割と聞く。解決策として、本市においても、ドナーや事業所等への助成金制度の導入を望むが、市の認識と実現可能性について聞きたい。
答 助成金制度は有効な手段と認識している。骨髄移植推進の取り組みを、他市事例を参考に研究していく。



自由民主党絆の会
澤田 直己

分かりやすい行政評価の再考を

問 行政評価に係る評価調書の作成は多大な時間を要し、本来の目的の事業見直しへの活用が図られていないとのことだが、説明責任や透明性の確保等の観点からも、事務事業等の詳細な情報を公開すべきでないか。
答副市長 指摘を踏まえ行政評価が分かりやすい内容になるよう、財務諸表も含め、市として説明責任を果たすため、内容の精査に努める。



吹田新選会
有澤 由真

学校給食で都市交流を

問 国内交流都市の特産物を、食育や良質な食材を全児童に平等に提供する観点から、学校給食に使用できないか。児童の都市交流や食への理解にもつながると思いが所見を問う。
答市長 都市交流や食育の面で多くの意義を感じ、大変興味を持った。食材の安定供給や遠方からの輸送等の課題はあるが、安全で栄養バランスのとれた給食の提供の参考としたい。



大阪維新の会・吹田
井口 直美

地区市民ホールの運営改善を

問 地区市民ホールごとに利用条件が異なり、利用者が地区の諸団体に偏りがちになっている。また、自治会加入者等に利用が制限されている場合もある。条件を統一し、誰もが利用できるようにすべきではないか。
答 各ホールで定める利用規定等にはそのような制限はないが、自治会非加入者等の利用を制限する運用がされている場合は、改善すべきと考ええる。



公明党
浜川 剛

SNSによるいじめ相談窓口を

問 こどもSOSカード等のいじめ相談体制は、対応の即時性に疑問が残る。SNS等を活用した相談窓口を創設し、身近な方法でいつでも相談できる体制を構築すべきでないか。
答 GIGAスクール構想に基づく一人一台端末を活用した相談手段の構築に取り組んでおり、児童、生徒にとつて使いやすい、安心して相談できるものとなるよう検討していく。



市民と歩む議員の会
馬場慶次郎

学習用タブレット端末の活用を

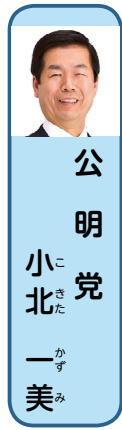
問 市立小・中学校全学年で一人1台ずつ配備される学習用タブレット端末は、先進自治体を参考に日常的な自宅への持ち帰りを可能とし、予習、復習などの家庭学習にも最大限活用させるべきではないか。
答 端末を日常の学びに活用することの有用性は認識しているが、まずは緊急時の対応に備え、試験的に持ち帰り使用することを想定している。



日本共産党
玉井美樹子

施設整備に地元意見を反映せよ

問 北千里小学校跡地複合施設の指定管理者制度導入に際し、寄せられた市民意見は何通か。また、地元関係者等からの意見聴取については十分とは言えないため、改めて意見を聴取すべきではないか。
答 寄せられた市民意見の総数は320通である。引き続き、丁寧な説明を行うとともに、関係者等から、改めて意見聴取の場を設ける予定である。



公明党
小北 一美

公有地の活用を進めよ

問 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は大幅な税収減が見込まれるが、市民生活に必要な事業予算は確保しなければならぬ。財源確保のため、市が保有する公有地のうち、現在利用予定のない普通財産の土地は、売却や有効活用を図るべきでないか。

答 提案の土地の活用については、市公有地活用の考え方に従い、今後も未利用地の縮小に努めていく。



大阪維新の会・吹田
橋本 潤

新型コロナウイルス感染に係る情報開示

問 児童、生徒や教職員が新型コロナウイルスに感染した際、本市では学校名を公表していない。近隣自治体の感染確認時の情報開示状況及び、本市の公表についての見解を問う。

答 北摂6市では、豊中市が臨時休業を行った学校名を公表している。今後、学校でクラスターが発生し、周知する必要が生じた際には、関係部局と協議し、適切に対応していく。



民主・立憲フォーラム
山本 力

少人数学級編制などの実現を

問 長期的な財政負担のため、ダブルカウントを含めた少人数学級編制の本市独自での早期実施は困難とのことだが、段階的な実施の可否も含め、実現の課題について見解を問う。

答 まずは教員加配定数の少人数学級編制への積極的な活用を促し、1校でも多く、課題の解消に努めたい。

答市長 現在の1学級当たりの児童、生徒数は、見直す必要を感じている。



日本共産党
塩見みゆき

学校看護師間の連携体制を

問 学校看護師は、一人勤務が多く、看護師間の横の連携や、指導的立場の看護師の配置もない状況を改善すべきと考える。医療的ケアを必要とする児童、生徒の学校現場での環境整備について、見解を問う。

答 他校の看護師間の連携体制等について、他市状況を確認し、同一校に勤務する看護師が校内での業務相談等ができるよう、改善に努めたい。

教えて！議会のこと③

「質問」



吹田市イメージキャラクターすいたん

本会議では、各議員が議案に関する質疑と一般質問(市の一般事務についての質問)を一括して質問します。3人以上の議員が所属する会派による代表質問(会派から一人のみ)と、質問(個人質問)を定例会ごとに行っています。なお、代表質問を行うかどうかは会派の選択制となっています。質問の方式は複数の項目をまとめて聞く「一括質問一括答弁方式」と、一問ずつ聞く「一問一答方式」の選択制になっています。

質問する順番は、定例会ごとに議会運営委員会で抽選(くじ引き)によって決まります。質問(個人質問)の人数制限はありませんが、代表質問をした議員はできません。

質問する時間は、原則として会派構成人数(正副議長は除く)に15分をかけた時間が代表質問と質問(個人質問)の合計時間となります。ただし、代表質問は60分以内、質問(個人質問)は一人20分以内となっています。





日本共産党
山根 建人

本と出会える機会の確保を

問 自動車文庫廃止について、利用者や子どもたちに意見募集をしたのか。また、図書館利用不便地域へは、連絡車両を活用し巡回地域を柔軟に拡充すべきと考えるが、見解を問う。

答 自動車文庫廃止へ直接、利用者意見は聴取していないが、今後、図書館全般へのアンケートを実施したい。また、パブリックコメントの結果を踏まえ配本等のサービスを検討する。



自由民主党絆の会
藤木 栄亮

千里山の阪急バスの運行経路

問 地方独立行政法人市立吹田市民病院が建都へ移転し、千里山駅周辺からのアクセスが不便との声がある。阪急バス株式会社の岸辺駅へのルートの実現を要望するが、見解を問う。

答 アクセス改善を求めるニーズも認識しており、今後、公共交通事業者や関係機関などから意見を聞く場を設置し、地域の公共交通の課題解決に取り組んでいきたい。



公明党
野田 泰弘

令和3年度の予算編成について

問 災害時等に備えた市の貯金ともいえる財政調整基金が新型コロナウイルス対策に費やされ、残高が約17億円から約17億円に減少しているが、来年度の予算をどう編成していくのか。

答 同基金は、今後国の交付金や決算調整等により、令和2年度末には残高の回復を見込んでいる。例年以上に決算見込みの精度を高め、予算編成に必要な財源確保に努めていく。



日本共産党
柿原 真生

子どもを守る早期の性教育を

問 子どもを性暴力から守り、傍観させないために、幼少期からの包括的性教育は重要であり、国際的指引もある。就学前のセクシュアリティ教育の本市の現状と、見解を問う。

答 公立幼稚園・保育所では、改まった性教育ではなく、人権教育の一環として、自分や他者を大切にする気持ちを育み、男女の体の違いや、その大切さなどを伝えている。



公明党
井上真佐美

南吹田地域に
コミュニティ施設の整備を

問 南吹田地域は、新駅が開業し、今後人口増加が予想される地域だが、地域住民の交流や災害時の拠点となる公共施設が不足している。広域的なコミュニティ施設を早急に整備すべきと考えるが、市長の見解を問う。

答 同施設の適切な候補地を考えたうえで、用地の確保に係る課題を中心に整備の検討に努めていく。



公明党
坂口 妙子

避難所の混雑状況の見える化を

問 コロナ禍で3つの密の回避が求められる中、他市では感染対策の一環として、災害時の避難所の混雑状況を把握できるアプリ等を運用している。本市も市民の安全確保のため、同様のサービスを運用してはどうか。

答 分散避難や混雑解消のためにも、避難所情報が見える化は必要と認識しており、今後先進事例の研究等を進め、実現に向けて取り組んでいく。

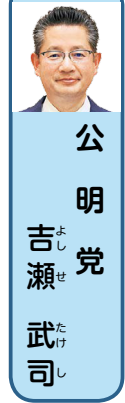


民主・立憲フォーラム
川本 均

市道穂波芳野線の再整備を

問 フラワーロードと命名された市道穂波芳野線は一部区間が整備されたが、全体をふかんすると愛称にふさわしい道路形態ではない。市南部のコミュニティ道路の重要路線として、再整備を進めるべきではないか。

答 周辺道路改良等を含め、連続性と環境改善等に配慮することで地域コミュニティに結びつけ、まちの機能を効果的、効率的に発揮させたい。



公明党
吉瀬 武司

コロナ禍での窓口業務について

問 コロナ禍における窓口業務の在り方については、部局を超えた包括的な検討が必要である。感染予防やサービス向上のため、ICT化や外部委託等による業務改革が求められるが、現在の検討状況を聞きたい。

答 来庁不要な手続きの拡充や予約制導入による来庁時の混雑緩和に努めるとともに、簡易な申し込みについてオンライン対応等を進めている。




日本共産党
竹村 博之

公園の指定管理は再考を

問 公園という公的な場の管理運営を、民間事業者に委ねること、事業者の利益が優先され、市民にとっての自由な公園利用が阻害される事態を懸念する。公園の管理運営への市の責任を問う。

答 指定管理者に対し、市として公園の目指すべき姿を示し、平等利用や安全確保等を順守させ、モニタリング等で確認していく。



市民と歩む議員の会
五十川 有香

レッドステージ下での教育活動

問 大阪府独自基準「大阪モデル」のレッドステージ移行後も、市立小・中学校は休業しないと決定した根拠等は何か。また、在籍児童等や高齢者と同居する児童等の数も聞きたい。

答 市長が本部長の対策本部会議で、感染リスクと国等の動向を踏まえて決定した。また、令和2年12月現在の在籍児童等は2万9,894人で、高齢者との同居数は把握していない。



自由民主党絆の会
石田 就平

総合福祉会館の在り方について

問 総合福祉会館は、事業委託などの結果、開館当初に比べ、業務量は激減し、十分に活用されていない。吹田市保健所と併せて、施設の再編について早急に検討してはどうか。

答副市長 新型コロナウイルス対策のため、臨時的に保健所の機能の一部を同会館内に移転する準備を始めた。新型コロナウイルスが終息した後、同会館の周辺を含め、在り方の検討を始めたい。



大阪維新の会・吹田
齋藤 晃

監査委員の信用失墜行為

問 大阪府都市競艇企業団議会に、元市職員の監査委員が市長の代理で出席していたが、監査委員制度をないがしろにする行為と懸念する。市と監査委員のなれ合いが原因であり、元市職員を監査委員に選任すべきでないと考えますが、市長の見解を問う。

答市長 監査に適した人材を選任しており、決してなれ合いにならないよう、双方で努めてまいりたい。



自由民主党絆の会
泉井 智弘

あいほうぶ吹田の運営の在り方

問 過去に行われたあいほうぶ吹田の委託事業者の選定委員会において、市の説明は、公平性等に欠けているのではないかと。また、指定管理者制度導入や、契約内容を見直し、受け入れ体制の確保等を求めるがどうか。

答 公平性等の確保の観点から、今後、発言に注意するよう周知徹底する。また、指定管理者制度の導入を視野に入れ、運営の見直しを進める。




無所属クラブ
生野 秀昭

規則改正理由書の改ざん

問 市が、道路法解説の名前を使い、都合の悪い文章を削除し理由書を作成したことは改ざんである。基本である道路法第1条の目的は公共の福祉の増進であり、理由書の目的は企業の利益とある。整合性を求める。

答 文章を変更した理由は、道路法の趣旨を説明するためであり、改ざんの意図はなく、双方の目的は異なり整合性を図る必要はないと考える。



自由民主党絆の会
白石 透

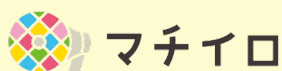
総合計画の見直しについて

問 新型コロナウイルスの影響で変容した社会経済環境を踏まえ、総合計画を見直す自治体がある。本市でも、数字の修正や期間変更等多くの課題が浮かび上がると考えるが、見解を問う。

答 実施計画を見直しながら状況把握に努め、第4次総合計画について見直しの時期や手法等を検討する。
答市長 変えるべきところは、逐次変えていく必要があると考える。

市議会だよりを気軽にスマホで！

各自治体の広報紙をスマートフォンやタブレットなどで閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で、第312号(令和2年2月定例会号)以降の市議会だよりを配信していますので、ぜひご覧ください。



アプリのダウンロード▶



iOS用



Android用